

**製品名: ETS1 (11S7) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10648**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,IF-P 1:500-1:2000
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ETS1
別名	C ets 1 protein; ETS 1; ETS1; ETS1 oncogene; EWSR2; Oncogene ETS1; P54; Protein C-ets-1;
遺伝子 ID	2113.0
SwissProt ID	P14921
免疫原	ヒト ETS1 の合成ペプチド

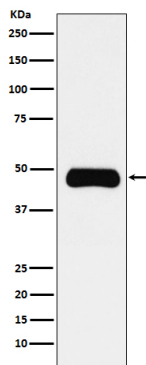
**背景**

転写因子。転写因子。様々な細胞環境において、サイトカインおよびケモカイン遺伝子の発現を直接制御する。リンパ球細胞の分化、生存、増殖を制御する可能性がある。また、内皮細胞の移動および浸潤を制御する遺伝子の発現を制御することで、血管新生を制御する可能性もある。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



Daudi 細胞溶解物中のインスリン受容体 R 発現のウェスタン ブロット分析。